

# 準天頂衛星システム利活用促進に関する 施策の概算要求について

資料  
1-5



令和元年10月  
農林水産省

## <対策のポイント>

スマート農業を総合的に推進するため、**先端技術の現場への導入・実証**や、地域での戦略づくり、情報発信や教育の推進、農業データ連携基盤(WAGRI)の活用促進のための**環境整備等の取組を支援**します。

## <政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

### <事業の内容>

#### 1. スマート農業加速化実証プロジェクト

○ 各地域の実情に応じたスマート農業技術体系が構築・実践されるよう、現在の技術レベルで最先端の**ロボット・AI・IoT等の技術の生産現場への導入・実証**、**技術面・経営面の効果を明らかにする取組を支援**します。

#### 2. スマート農業普及のための環境整備

##### ① 農林水産データ管理・活用基盤強化

農林水産省が保有・収集するデータが農業データ連携基盤 (WAGRI) においてより活用されるよう環境整備を行います。

##### ② 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討

自動走行など農業用先端ロボットの現場導入の実現に向け、**安全性確保についてのルールづくりや技術の検証を支援**します。

##### ③ 次世代につなぐ営農体系確立支援

産地が抱える課題解決のため、新技術を組み入れた**新たな営農技術体系構築の戦略づくり、データ駆動型農業の実践体制づくり、ノウハウの横展開、情報発信等の取組を支援**します。

##### ④ スマート農業教育推進

農業大学校等においてスマート農業のカリキュラム化を推進するため、授業で活用できる**教育コンテンツや高度な実習の機会を提供**します。

### <事業イメージ>

#### スマート農業加速化実証プロジェクト



技術開発・実証

実装・普及に向けた環境整備

#### 産地の戦略・体制づくり



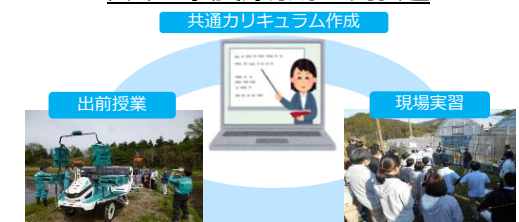
#### 農業データ連携基盤の活用促進 (WAGRI)



#### ロボット技術の安全性確保

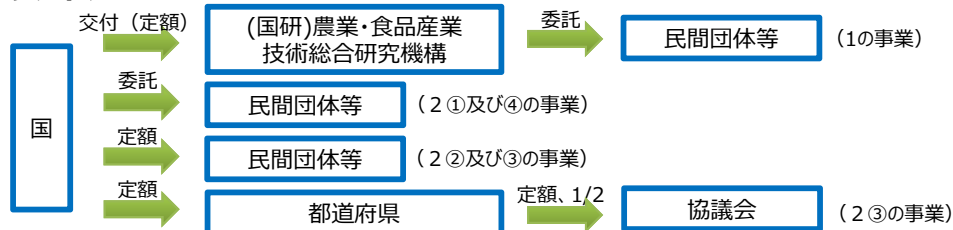


#### スマート農業教育の推進



### スマート農業の社会実装・実践

## <事業の流れ>



# 農業分野での『みちびき』の実証事例及び衛星測位の活用例 (参考)

## 『みちびき』の実証事例 (スマート農業実証プロジェクト)

### つるがい (株)アグリ鶴谷(福島県南相馬市)

- ・ 準天頂衛星「みちびき」の測位情報をドローンの精密制御に活用。
- ・ ドローンによる生育診断、病害虫診断に基づくピンポイント肥料・農薬散布を実施し、省力化・コスト削減を図る。



### アムナック やぶ (株)Amnak (兵庫県養父市)

- ・ 約100筆からなる狭小な棚田において、準天頂衛星「みちびき」を利用した自動走行トラクター等を導入し、労働時間を削減。規模拡大を目指す。



## 衛星測位を用いたスマート農業技術の例

### 自動走行トラクター

- ・ 耕うん整地を無人で、施肥播種を有人で行う有人-無人協調作業を実施
- ・ 作業時間約4割削減



実用化済

### 自動運転田植機

- ・ 田植え作業と苗補給を1人で実現可能
- ・ 最高水準の速度で熟練農業者並みの作業精度を実現



2019年度以降実用化

### 自動航行ドローンによるセンシング・農薬散布

- ・ センシングによる生育・病害虫発生等の可視化や、効率的な農薬散布による防除により、省力化及び収量・品質の向上を実現



実用化済

### 自動運転アシスト機能付コンバイン

- ・ オペレータが搭乗した状態での自動運転による稲・麦の収穫を実現
- ・ 最適なタイミングで排出ポイント付近まで自動で移動



実用化済